

国語科学習指導案

指導者

- 1 日 時
- 2 場 所 第2学年2組教室 (B棟1階)
- 3 学年・学級 第2学年2組 30名
- 4 単 元 名 お話のさくしゃになろう

5 単元の目標

- (1) 身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使うことができる。〔知識及び技能〕(1)オ
- (2) 自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。
〔思考力、判断力、表現力等〕B(1)イ
- (3) 文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現の良いところを見つけることができる。
〔思考力、判断力、表現力等〕B(1)オ
- (4) 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
〔学びに向かう力、人間性等〕

6 単元について

(1) 児童観

本学級は、国語科の学習に対する興味関心が比較的高い児童が多い。国語科の学習では、週に一回程度読み聞かせを行い、様々な物語に触れるとともに読書の意欲を高めるようにしてきた。これまでの学習では、書くことについて「スイミー」の教材を通して、「始め」、「中」、「終わり」の文章の組み立てを意識して、あらすじを捉える学習をしている。また、「おもちゃの作り方をせつめいしよう」の単元では、順序が分かるように文章を書く学習をした。このほかにも、使える語句の量を増やすために、各教材や新出漢字の学習で出てきた言葉や熟語の意味を、一つ一つ確認したり児童同士で教え合ったりする活動を継続的に行ってきた。

このような学習活動を通して、進んで文章を書いたり新出語句に興味をもったりする児童が増えてきている反面、自分の考えを書くことが難しい児童や、思いをもてない児童もいる。

本単元では、物語を想像して作ったり書いたりする楽しさを味わってほしいと考える。そのために、物語の設定や構成を決める際に多くの選択肢を提示したり、友だちとの意見交流の時間を十分に取ったりすることで物語の構成を決めやすくし、進んで活動に取り組めるようにしたい。

(2) 教材観

本単元は、第2学年でこれまでに学習してきた文章の構成「始め」、「中」、「終わり」を用いて、まとまりに分けてお話を書く単元である。物語を書くにあたって、教科書にはある一場面を表す絵がある。1枚の絵から考えられる話の展開は数多く考えられるため、絵から想像をして登場人物像を決め、物語を想像し、簡単な構成がしやすいようになっている。そのため、自分の思いや考えを順序立てて構成する力を育てられる教材だと考える。

また、言語活動として、学習指導要領の第1学年および第2学年の内容〔思考力・判断力・表現力〕B書くことの(2)ウ「簡単な物語をつくるなど、感じたことや想像したことを書く活動」を基に、「想像して書く」言語活動を設定した。この言語活動では、絵や写真から場面や登場人物の会話、行動を想像し、言葉を書き添えたり、お話をつくったりするなどの活動が考えられる。

共通の絵から想像を広げられるよう、物語を書く前に既習の物語の構成や人物像を出し合い、想像を膨らませやすくする。また、友だちと物語について意見交流をすることを通して、書く活動に入りやすいようにする。

(3) 指導観

本単元を通して、単元の目標を達成するために、以下の工夫を行う。

第1～3時では、既習の物語を中心に物語の構成や登場人物の人物像を振り返り、自分の物語の構成や登場人物の設定を決める。既習の物語を多く取り上げることで、様々な展開の仕方や人物像があることに気付かせたい。また、単元の目標である「身近なことを表す語句の量を増す」ことに繋がるよう、既習の物語を振り返る際には、様子や感情、性格を表す言葉などを多く取り上げるようにする。

第4～6時では、事柄の順序に沿って物語をしていく。また、構成が分かりやすくなるようワークシートを使用する。ワークシートは、人物像の設定、物語の構成メモ、物語を書くワークシートに分け、見通しをもって取り組めるように工夫した。また、自分の思いや考えが明確になるよう、グループ内で自分たちの構成を伝え合い、質問し合うことや助言する活動を取り入れる。

第7～9時では、構成を基に物語を書き進めていく。書く際には、既習事項である句読点やかぎの使い方、主語と述語の関係を復習するほか、比喩表現や会話文などを取り入れると表現が豊かになることを確認したい。また、第1～3時で見つけた様子や感情、性格を表す言葉を掲示して、表現の幅が広がるようにする。文章の推敲の際は、自分で書いた文章を音読して読みにくいところを修正するなど、推敲する目的やポイントを明らかにして活動を始めるようにする。また、語と語や文と文の続き方などを確かめると良いことを指導する。

単元の最後に友だちの作品を読み合う時間では、読む観点を提示し、作品を読み合い感想を交流する中で、友だちの作品のおもしろさや自分の作品の良さに気付けるようにしたい。

7 単元の評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|----------------------------------|--|---|
| ①身近なことを表す語句の量を増し、文章の中で使っている。(1)オ | ①「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。B(1)イ ②「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見つけている。B(1)オ | ① 事柄の順序に沿って粘り強く構成を考え、学習課題に沿って物語を書こうとしている。 |

8 単元の指導計画・評価計画 (11時間扱い、本時は6/11)

| 時 | ○目標 | ・学習活動 | 評価の観点 | | |
|---|--|---|-------|---|---|
| | | | 知 | 思 | 態 |
| 1 | ○学習のめあてやお話を書く学習過程の見通しをもち、進んでお話を作ろうとすることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学習した物語教材を振り返ったり、好きな物語についてどんな出来事が起きるかを紹介し合ったりする。 ・単元のめあてと学習の流れを確認する。 ・これまでに学習したお話の構成を振り返り、お話の構成について理解する。 | | | |
| 2 | ○お話に出てくる登場人物の名前や性格などを設定することができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学習した物語の登場人物について振り返る。 ・教科書の絵を見て想像したことを紹介し合い、登場人物の名前や人物像を考える。 | | | ① |
| 3 | ○絵を見て想像し、お話の中でどんな出来事が起こるかを考えることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学習した物語や好きなお話の中では、どんな出来事が起こったかを振り返る。 ・自分が考えた出来事を紹介し合い、お話に書きたい出来事を決める。 | | ① | |

| | | | | | |
|---------|---|---|---|---|---|
| 4 | ○お話の終わりを考えて、メモにまとめることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学習した物語や好きな本のお話の終わりを振り返る。 ・登場人物が最後にどうなったのかを想像し、紹介し合う。 ・自分が考えた出来事の後になつたかを決め、お話の最後をメモする。 | ① | | |
| 5 | ○「始め」「中」「終わり」のまとまりを考えてワークシートにお話の構成を書くことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「始め」「中」「終わり」に書くことの見通しをもつ。 ・お話を三つのまとまりに分けて、ワークシートに書く。 | | ① | |
| 6 本時 | ○ワークシートに書いた構成をもとに、友だちと感想や助言を伝え合って、構成を決めることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・お話の説明の仕方を確認する。 ・友だちとお話の説明をし合う。 ・お話を説明し合ったことにより生まれた新しい考えをワークシートに書き加え、構成を決める。 | | ① | |
| 7 8 | ○様子がよくわかるように書き方を工夫し、構成の順序に沿ってお話を書くことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「始め」「中」「終わり」に書くことを確認する。 ・ワークシートに書いた出来事の様子を詳しく書くための工夫を考える。 ・ワークシートや絵から想像を広げ、構成の順序に沿ってお話を詳しく書く。 ・書き終えたら読み返しをする。 | ① | | ① |
| 9 | ○書いたお話を読み返し、分かりにくいところや言葉の間違いを直すことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・見直しのポイントを確かめる。 ・作品を読み返し、加筆修正をする。 | ① | | |
| 10 | ○物語の題名を決めることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学習した物語の題名について振り返る。 ・物語に合う題名を決める。 ・製本し、表紙と裏表紙を書く。 | | | |
| 11 | ○友だちと書いたお話を読み合い、いいなと思ったところを伝え合うことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・作品を交換して読み合い、感想を伝え合う。 ・作品を読み合った感想を発表する。 ・単元を振り返り、まとめる。 | | ② | |

9 本時の授業計画

(1) 本時の目標

ワークシートに書いた構成をもとに、友だちと感想や助言を伝え合って、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。【思考・判断・表現】B(1)イ

(2) 本時の流れ

| | 学習活動と内容 | 指導上の留意点 | 【評価の観点】 〈評価の方法〉 |
|-------------|---|--|--------------------|
| 導入 (10分) | <ul style="list-style-type: none"> ○前時の学習を振り返る。 ○お話の説明の仕方を確認する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・教師が例を示し、本時の活動の見通しがもてるようにする。 | |
| 展開 (25分) | 友だちと考えを伝え合って、お話のながれをくふうしよう | | |

| | | | |
|-----------------------------|--|---|--|
| | <p>○お話の説明の仕方を確認する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 登場人物の設定 2 「はじめ」の内容 3 「中」の内容 4 「おわり」内容 <p>○友だちとお話の伝え合う。</p> <p>○お話を伝え合ったことにより生まれた新しい考えをワークシートに書き加え、物語の構成を決める。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・活動の手順を細かく確認することで、円滑に活動できるようにする。 ・班で活動を行い、多くの感想や助言をもらえるようにする。 ・班活動の流れを簡単に示す。 ・感想や考えを付箋に書き、相手に渡すようにする。 ・班の友だちに書いてもらった付箋の内容を基に、想像を膨らませるようにする。 | <p>【思】</p> <p>「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。B(1)イ 〈ワークシート、観察〉</p> |
| <p>まとめ (10分)</p> | <p>○考えを変えたところと物語の構成を発表する。</p> <p>○本時の振り返りをする。 【振り返りの視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちの考えを聞いたか ・お話のながれを見直せたか ・友だちとの交流で気付いたことや感想 <p>○次時の確認をする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・数名に発表をしてもらい、友だちの考えを知ることができるようにする。 ・友だちとの交流で気付いたことや感想はワークシートに記入をさせる。 ・次時の学習内容と見通しをもたせる。 | |

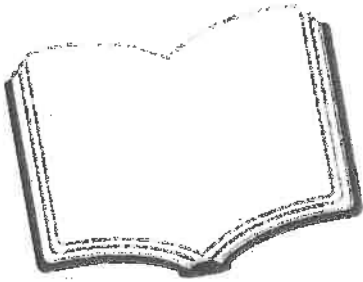
(3) 本時における評価について

| <p>A 「十分満足できる状況」の例、またはキーワード</p> | <p>B 「おおむね満足できる状況」の例</p> | <p>C 「努力を要する状況」の例 →その手立て</p> |
|---|--|---|
| <p>Bの状況に加え、「様子を表す言葉」などを用いて具体的に書いている。または、話し合いを基にして生まれた新たな考えを書いている。</p> | <p>友だちとお話の説明し合ったことを基に、新しい考えを書いている。</p> | <p>友だちとお話の説明をし合ったが、新しい考えを書くことができない。または、新しい考えが浮かばない。 →具体的な例を示す。 →児童が書きたいことを整理し、書く内容を児童とともに考える。</p> |

お話を聞いて、お話を聞いて

お話を聞いて、お話を聞いて

年 組



月 () 日 ()

お名前

Blank rectangular box for writing the name.


お話を聞いて

お話を聞いて

Two columns of four vertical rectangular boxes each, for writing the story content.

お話を聞いて

A grid of 10 columns and 4 rows of small squares, likely for drawing or additional notes.

| | | | | | |
|--|--|---|---|---|---|
| めい | | 月 | 日 | (|) |
| <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>名前</p> <p>ユベシキユ</p> </div> <div style="width: 10%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 45%;"> <p>せうな</p> <p>ユベ</p> </div> </div> | | | | | |
| ©SSSがKKS | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

| | | | | | |
|---|--|---|---|---|---|
| めい | | 月 | 日 | (|) |
| <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>名前</p> <p>ユベシキユ</p> </div> <div style="width: 15%;"> <p>その後</p> </div> <div style="width: 40%;"> <p>ユベシキユ</p> </div> </div> | | | | | |
| ©SSSがKKS | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

